

元町だより

3月特別号

令和5年3月吉日
京都市立元町小学校
校長 日坂 光男



令和4年度 第2回学校評価のご報告

花の小さな蕾に春の訪れを感じるこの頃です。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。12月に実施した「第2回学校評価アンケート(保護者)」「元町っ子アンケート(児童)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下にご報告させていただきます。

学校教育目標

夢と笑顔があふれる元気な学校
～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども
「と」ともだちを大切にできる子ども
「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども
「ち」ちゃんと目を見て考えて話せる子ども

概要

本校では、「夢と笑顔があふれる元気な学校～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～」という学校教育目標を受け、今年度は「発信力」「対話力」の育成に基づく「主体的・対話的で深い学びの充実」という研究主題で教育活動を進めてきました。「対話力」を重点に置き、コミュニケーション能力を高めることを目標に、「子ども同士の協働を通じて、対話の中で自己の考えを広げ、深め、思いを進んで発信できる子ども」を目指して、色々な教科学習や学校生活の様々な場面で取り組んでまいりました。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今年も全学年オンラインで回答しました。ほとんどの項目で80%以上が「できている」と答えていますが、第1回の結果より低くなった項目もあります。詳しくは裏面にて報告させていただいています。

保護者の「学校評価アンケート」は回収率が88%でした。第1回よりオンラインでの回答にご協力いただいた方が増えました。第1回に引き続き、全体を通してどの質問においても概ね実現度が高いという評価をいただきました。これは、保護者の皆様が教育に対する意識を高くもたれ、本校の教育方針にご理解やご協力をいただき、ご家庭でも子どもたちへの声かけや励ましをいただいているからと考えています。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

教職員自己評価については、第1回の結果に比べて実現度が高くなった項目や低くなった項目がありました。全教職員が同じ姿勢で学校教育目標の具現化に取り組んでいきたいと思います。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後、保護者の皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にした取組をしていきたいと思います。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を合わせた数値

	質問項目	子ども実現度			保護者実現度			教職員実現度		
		R3	R4①	R4②	R3	R4①	R4②	R3	R4①	R4②
学校生活	1 学校で楽しく過ごす	88%	93%	92%	98%	96%	98	90%	94%	94
	2 進んでいきたい事をする	98	94	91	92	92	91	80	100	83
	3 「てまきでははは」を心がける	94	88	89	86	78	81	100	92	94
も(確かな学力)	1 授業中に学習のルールを守る	96	88	92	92	91	84	100	93	100
	2 授業や帯時間の学習に集中して取り組む	96	87	92	82	87	81	100	88	87
	3 家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	88	93	86	94	96	92	100	82	86
ともだちを大切にできる心	1 誰とでも仲良くする	97	95	93	98	96	94	100	100	93
	2 相手の思いや考えをよく聞いて大切にする	97	99	98	96	96	92	100	100	100
	3 相手の気持ちを考えて行動する	98	96	91	97	97	96	100	100	93
ま(健やかな体)	1 自分の体や心を大切にする	95	80	94	99	99	98	90	67	100
	2 生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	95	97	87	97	98	97	90	58	67
	3 進んで外遊びや運動をする	82	82	78	74	84	81	70	53	60
ちゃんと見て考えて話せる子ども	1 図や絵や思考ツールを使って自分の考えを整理したりまとめて話す	88	78	76					82	80
	2 進んで自分の考えを文に書いたり、発表したり、相手の話をしっかりと聞いたりする	78	88	83					95	91
	3 コンピューターやタブレットを使って進んで学習する	96	95	88					69	67
(保護者)	1 子どもから学校での出来事などの話を聞く				98	96	96			
	2 子どもの宿題や学習ノート、学校からのお便りなどを見る				92	92	92			
	3 子どもが宿題などで分からぬ時に、辞書や本、コンピューターなどを使って調べるように声かける				91	80	88			

主な成果と課題

<学校生活>

「てまきでははは」を心がける子どもは、前回に比べて実現度が上がっています。保護者、教職員の実現度も上がってきてています。教職員が声をかけなくても、子どもたちが自分たちで「てまきでははは」を意識して行動することが出来ていることが分かります。子どもも大人も、「てまきでははは」の合言葉が定着してきたように感じます。その一方で、「進んでいいさつをする」という質問項目においては、第1回目よりも下がった結果となりました。「自分から進んでいいさつをしている」という子どもは91%ですが、「進んでよくしている」と答えた子どもは54%でした。自分から進んでよいとしている子どもが年々減ってきていることが分かります。挨拶をすることで、人と人との関係をよりよく築いていくこともあります。今一度、「おはようございます」「いただきます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」等の挨拶について子どもたちと共に大切にしていきたいと思います。

<もっと学びたいと思える子ども>

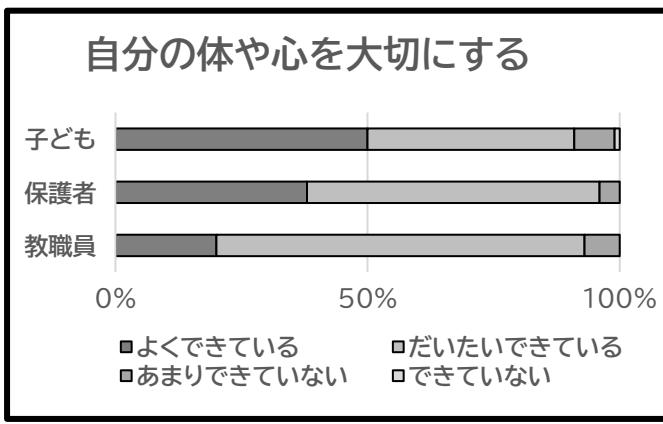
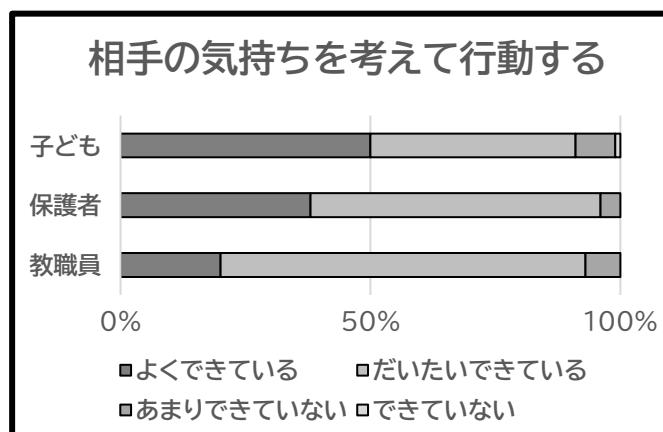
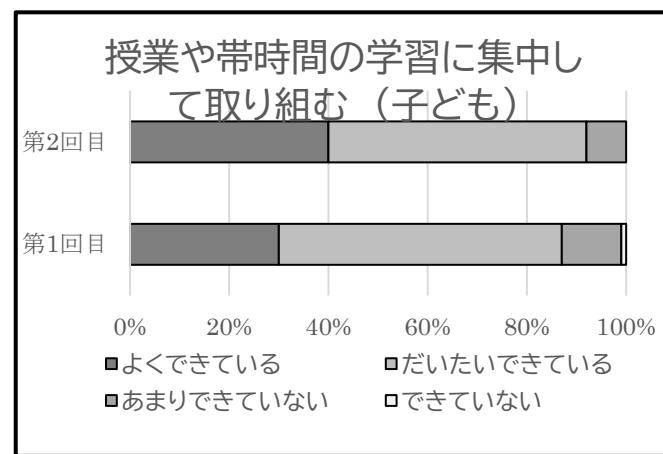
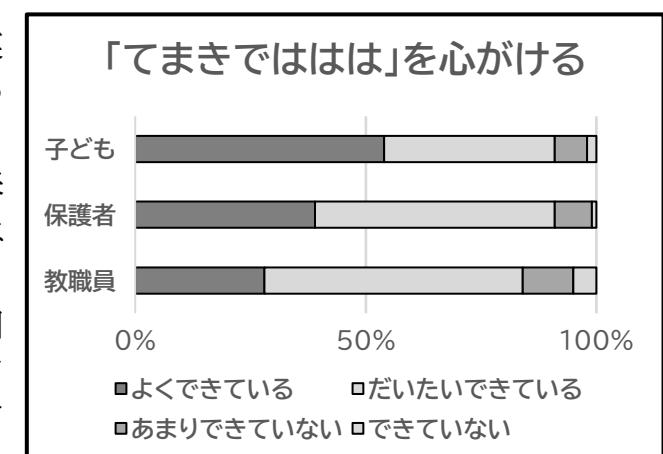
「授業中に学習のルールを守る」「授業や帯時間の学習に集中して取り組む」の2項目においては、第1回目よりも子どもたちの実現度は高くなっています。特に「授業や帯時間の学習に集中して取り組む」項目で「よくできている」と答えた子どもが10%増えています。学年の後半になり、学習のルールなども定着してきたからだと思います。

<友だちを大切にできる子ども>

「誰とでも仲良くする」「相手の思いや考えをよく聞いて大切にする」「相手の気持ちを考えて行動する」の3つの項目で、実現度が下がりました。友だちを大切にしたり、相手の思いを大切にしたりすることが「あまりできていない」「できていない」と答えている子どもが9%いました。道徳の学習や人権の日で、色々なテーマについて学んできました。友だちの思いやそれぞれの違いを互いに大切にできるように、働きかけていきたいと思います。

<まいにち笑顔で過ごせる子ども>

「生活リズム」「外遊び」については、他の項目に比べて実現度が低いです。保護者の実現度が高いことから、お家の方からは声をかけていただいていることがうかがえます。しかし、自分から進んで早く寝たり、早く起きたりすることは、なかなかできにくい状況のようです。規則正しい生活習慣を意識しながら、健康的に過ごしてほしいと思います。また、「自分の体や心を大切にする」項目では、90%



上が「大切にしようとしている」と答えています。ただ「あまりできていない、できていない」と答えている子どもが6%いたことが気になりました。自分の思いがうまく表現できず、受け止めてもらえていない感じてしまっていることも一つの要因ではと考えます。<友だちを大切にできる子ども>の項目でも少し実現度が下がっていることとも関係しているように思います。まず、自分のことを大切にできないと、人のことを考える気持ちも薄れてしまうと思います。「自分なんて…」と否定的に考えず、自分の良さに目を向け、自分のことを大切に、自己肯定感を高められるように、子どもたちの気持ちに寄り添った対応を行っていきたいと思います。

<ちゃんと目を見て考えて話せる子ども>

「コンピューターやタブレットを使って進んで学習する」については、実現度は低くなっているものの、活用量や技能は上がっているように感じます。児童集会の発表などで、プレゼンテーションを作ったり、学習の中で、意見をタブレット上でやり取りしたり、全校にアンケートを取って集計したりと、活用の幅は広がっています。一人1台あるタブレットを今後も効果的に活用していきたいです。

「進んで自分の考えを文に書いたり、発表したり、相手の話をしっかりと聞いたりする」の項目では、少し実現度が下がっていました。詳しく見てみると、自分の考えを書いたり、相手の話をしっかりと聞いたりすることは、実現度が高かったのですが、「進んで自分の考えを発表している」と答えている子どもの実現が低くなっています。自分の思いを進んで発表する子どもが減っていることがうかがえます。自分の思いを進んで言えるためには、自分でしっかりとと考え、自分の思いをもつこと自分のことを皆に認めてもらっているという安心感が必要になります。一人ひとりの思いを大切にしながら、学習を進めていきたいと思います。

<学校独自の取組(保護者)>

「子どもが宿題などで分からない時には、調べるように声かけをする」という項目で、8%も実現度が上がりました。子どもたちが、分からない時に、諦めずに自分で調べて問題を解くことで、理解力も深まります。子どもたちが困っていた時には、今後も引き続きお家での声かけをお願いいたします。

自由記述より

○縦割り活動や委員会など児童会活動では、高学年としての優しさやリーダーシップが見られ、子どもの成長を感じました。

→今年度から始まった代表委員会や児童集会などで、高学年の子どもたちが学校のことを考えたり、下級生のことを考えたりしながら自主的に活動する姿がよく見られたように思います。今後も継続していきたいです。

○学校(授業中、給食時など)におけるマスク着用についてどのように対応しているのか知りたいです。

→2学期になってからも、基本的に「てまきでははは」を継続して行っています。これまで通り、話す時や歌う時にはマスクをつけるように声かけを行っています。給食時間では、食べているときは、静かに食べようと声をかけている状態ですが、給食放送のクイズなどに答えたり、好きな音楽が流れたら、リズムに乗ったりして楽しみながら給食時間を過ごしている子どももいます。先日、「卒業式におけるマスク着用の考え方について」のプリントを配布いたしましたが、学校生活においても、変更などがありましたら、またお伝えいたします。

○預り金については、特に問題ない、妥当であるというご意見をいただきました。

学校運営協議会より

今回の学校評価アンケートの結果については3月3日(金)の学校運営協議会にて報告させていただきました。元町の子どもの目指す姿や、今後の具体的な取組についてワークショップをして話し合いました。皆様からは、貴重なご意見をいただきありがとうございました。来年度に向けて、職員会議で検討していきます。今後も子どもたちを見守り、元町教育にお力添えをいただければ幸いです。